

れあう感動

いきたい



B & G 財団主催による、海外体験航海「少年の船」が7月22日から29日まで行われました。

東京晴海埠頭から「ふじ丸」にて出航し、サイパン・グアムで8日間の研修が行われ、光中から志太完さん・秋葉真弓さんが参加しました。

★ 心に残る一生の思い出

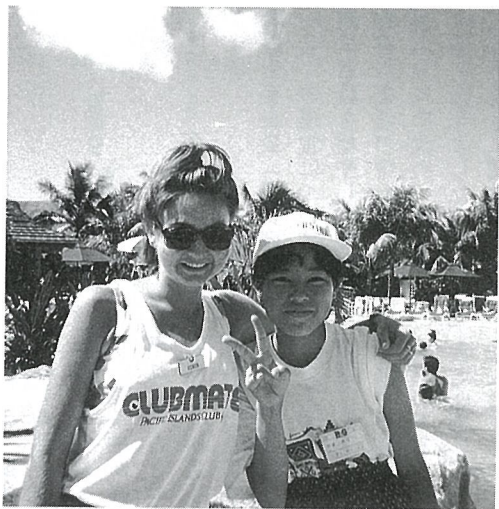
★ 長塚 秋葉真弓

私が、この研修に参加したきっかけは、船という慣れない生活の中で、自分自身を磨き、また友達の輪を広げるためです。

私が、この『少年の船』で特に心に残ったことが三つあります。一つ目は、三日目に行われた「星座教室」です。スポーツデッキに行き、星を見ました。確かに星は日本で見るとよりきれいに見えましたが、私が期待したほどではなく「本当にこれで、きれいなのか」と、疑問を持つことになりました。

役員の方々の話が始まり「星座教室」がはじまりました。

「まだ、皆さんの目で見ている星座は、本当の星座ではありません。皆さんの目が、まだこの暗い空に慣れていないのです。さあ、目を閉じて下さい。」
私は、目を閉じました。



▲マリンプールのきれいな海での秋葉さん(右)

「さあ、目を開けてください。」
「うわあ、きれい。」
と、いう声がとびました。一面の星座、天然のプラネタリウムです。太平洋一面に満開の星空、とてもきれいでした。また普段、見ることができない、人工衛星がきれいに星空を縫うように

に動いているのがはつきり見えました。また、流れ星もいくつか、見えました。話によると、海の上では一時間に十個は流れ星が見えるそうです。私は、五つしか見えませんでした。あの星空は、今でも目に焼きついていきます。

二つ目は、六日目 あった、現地交流会です。

午前中は、グアム大学にいき、現地の方々とレクリエーションをしたり、昼食を食べたり、すごく楽しかったです。私は、「英語が通じるか」と、いうことをとても心配していました。でも、そんなことはありませんでした。といって「HELLO」とか「O



楽しかったグアム・サイパン

K」だけで、後は日本語でも通じたからです。

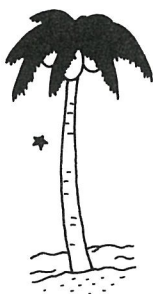
夕方は、船に現地の人々を呼んで、交流会というパーティーを開きました。私は、友達と一緒に写真を撮ったりしていました。別

のとき、私達は、現地の方をデッキから見送りました。ほんの一時足らずだったけれど、すごく楽しかったです。別れを惜しんで、泣いている人もいました。現地の人は、みんな本当に優しく、私の話しているへたな英語も聞いてくれました。このときほど、「英語をたくさん勉強しよう」とか、「英語を上手に話せたら……」と思ったことはありませんでした。そして、もう一度グアムに来たら、今度は、いろいろなことを話せたらいいな。と思いました。

三つ目は、七日目の「さよならパーティー」です。私はまだ、別れるという実感が湧きませんでした。でも、いろいろな人と話をしたり、写真を撮ったりしているうちに「本当に別れるんだ」という気持ちになってきました。六百人との握手のときに、私も友達も泣いてしまいました。ほんの一週間の間に、こんなに友達との絆が深まったんだ。とても淋しかったです。

この他にも、心に残ったことは、たくさんあります。マリンプールのきれいな海、洋上大運動会の応援の部で優勝したこと、サイパンやグアムの人々と遊んだり、たくさんさんの思い出ができました。一生の中の素晴らしい思い出になると思います。

この研修に参加する前は不安なことがいっぱいありましたが、終わった後は、「もう一度行きたい」という気持ちでいっぱいになりました。



お知らせ

海洋センターは、10月8日(日)から11日(水)までお休みです。